

5. 要介護度別サービスの組み合わせ

(1)要支援に多いサービスの組み合わせ

上位の 1000 件以上を示したサービスは、訪問介護 10190 件、通所介護 4163 件、福祉用具貸与 1693 件、通所リハ 1508 件の 1 種類と訪問介護および福祉用具貸与の 1427 件であった。全体の 43%が訪問介護の 1 種類のサービスが実施され、これに通所介護のみを加えて 6 割以上を示していた。複数のサービス利用は、訪問介護と福祉用具あるいは、訪問介護と通所介護であり、これらが約 1 割を占めていた。

表 2-13 要支援に多いサービスの組み合わせ (上位 20)

順位	サービス組合せ	N	%
1	訪介	10190	43.0
2	通介	4163	17.6
3	用貸	1693	7.1
4	通り	1508	6.4
5	訪介-用貸	1427	6.0
6	訪介-通介	817	3.4
7	特入	516	2.2
8	訪介-居指	453	1.9
9	通介-用貸	249	1.1
10	通介-通り	215	0.9
11	訪介-通り	211	0.9
12	福施	163	0.7
13	訪介-訪看	149	0.6
14	訪看	141	0.6
15	居指	137	0.6
16	訪介-通介-用貸	130	0.5
17	通介-居指	115	0.5
18	訪介-用貸-居指	113	0.5
19	訪介-訪看-居指	75	0.3
20	通り-居指	75	0.3

(2)要介護1に多いサービスの組み合わせ

全体の2割を占めた訪問介護が11512件と最も多く、通所介護7465件、訪問介護および福祉用具貸与が4505件、福祉用具貸与3982件、通所リハ3898件が多かった。

サービスの複数の組み合わせの中では、要支援と同様に、訪問介護と福祉用具貸与、訪問介護と通所介護が多かった。要介護1では痴呆対応型共同生活介護が460件と示された。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、7.8%示され、要支援よりも高かった。

表 2-14 要介護1に多いサービスの組み合わせ（上位20）

	サービス組合せ	要介護1	
		N	%
1	訪介	11512	20.0
2	通介	7465	12.9
3	訪介-用貸	4505	7.8
4	用貸	3982	6.9
5	通り	3898	6.8
6	福施	2873	5.0
7	訪介-通介	2621	4.5
8	保施	1574	2.7
9	通介-用貸	1289	2.2
10	訪介-通り	1140	2.0
11	特入	1085	1.9
12	訪介-居指	981	1.7
13	訪介-通介-用貸	918	1.6
14	通り-用貸	822	1.4
15	通介-通り	726	1.3
16	訪介-通り-用貸	551	1.0
17	通介-短生	510	0.9
18	通介-居指	478	0.8
19	痴共	460	0.8
20	訪介-訪看	440	0.8

(3)要介護2に多いサービスの組み合わせ

通所介護が最も多く 5369 件で 11.0%、次いで老人福祉施設 4778 件で 9.8%、老人保健施設が 4524 件で 9.3%、訪問介護が 3315 件で 6.8%、通所リハが 3067 件で 6.3%と上位 5 位まではすべて 1 種類のサービスであった。また、要介護 1 に比較すると入所施設の利用が多かった。

2 種類の組み合わせとして多かったのは、訪問介護と福祉用具貸与 2415 件 5.0%、訪問介護と通所介護 1591 件 3.3%、通所介護と福祉用具貸与 1466 件 3.0%、通所リハと福祉用具貸与 1204 件 2.5%、通所介護と短期入所生活介護等が示され通所サービスと組み合わせたサービスが多いことが示された。

サービスの複数の組み合わせは、多くなかった。要介護 2 では居宅療養管理指導と痴呆対応型共同生活介護が 574 件と示されていた。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、11.6%示され、要支援、要介護 1 よりもさらに高い割合を示していた。

表 2-15 要介護2に多いサービスの組み合わせ

順位	サービス組合せ	要介護2	
		N	%
1	通介	5369	11.0
2	福施	4778	9.8
3	保施	4524	9.3
4	訪介	3315	6.8
5	通り	3067	6.3
6	訪介-用貸	2415	5.0
7	用貸	2259	4.6
8	訪介-通介	1591	3.3
9	通介-用貸	1466	3.0
10	通り-用貸	1204	2.5
11	訪介-通介-用貸	1044	2.1
12	医施	888	1.8
13	通介-短生	880	1.8
14	訪介-通り	783	1.6
15	特入	668	1.4
16	訪介-通り-用貸	613	1.3
17	居指-痴共	574	1.2
18	通介-通り	506	1.0
19	訪介-用貸-居指	474	1.0
20	訪介-居指	451	0.9

(4)要介護3に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が 5556 件で 16.4%、老人保健施設が 4213 件で 12.4%と入所施設の利用が増加し、約3割を占めていた。次いで、通所介護 1683 件 5.0%、通所リハ 1202 件 3.5%と通所施設の利用が多く、福祉用具貸与が 1166 件 3.4%と示された。訪問介護は 1106 件 3.3%と要介護2よりも占める割合は減少していた。

2種類の組み合わせとして多かったのは、通所リハと福祉用具貸与 1068 件 3.2%、訪問介護と福祉用具貸与 1040 件 3.1%、通所介護と福祉用具貸与 923 件 2.7%、訪問介護と通所介護 822 件 2.4%、通所介護と短期入所生活介護 674 件 2.0%、訪問介護と通所リハ 339 件 1.0%等が示され、福祉用具貸与と訪問あるいは通所系サービスとの組み合わせが多いことが示された。

3種類以上のサービスが組み合わせられたパターンは上位 20 位中に 3パターン示された。このパターンは、訪問介護と福祉用具貸与に通所介護あるいは、通所リハを組み合わせたパターンが多かった。この他には、短期入所生活介護や短期入所療養介護（老人保健施設）を組み合わせた利用が示されていた。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、17.9%示され、要支援、要介護1よりもさらに高い割合を示していた。

表 2-16 要介護3に多いサービスの組み合わせ

	サービス組合せ	要介護3	
		N	%
1	福施	5556	16.4
2	保施	4213	12.4
3	通介	1683	5.0
4	通り	1202	3.5
5	用貸	1166	3.4
6	訪介	1106	3.3
7	通り-用貸	1068	3.2
8	訪介-用貸	1040	3.1
9	医施	997	2.9
10	通介-用貸	923	2.7
11	訪介-通介	822	2.4
12	通介-短生	674	2.0
13	訪介-通介-用貸	524	1.5
14	訪介-通り-用貸	410	1.2
15	訪介-通り	339	1.0
16	特入	335	1.0
17	通り-短保	306	0.9
18	通介-用貸-短生	301	0.9
19	居指-痴共	271	0.8
20	痴共	242	0.7

(5)要介護4に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が6221件で22.4%、老人保健施設が3742件で13.5%、介護療養施設が2973件で10.7%と入所施設の利用が増加し、46.6%を占めていた。通所介護573件2.1%、福祉用具貸与490件1.8%で上位は、入所施設と通所あるいは、福祉用具貸与と示された。

2種類の組み合わせとして多かったのは、通所介護と福祉用具貸与576件2.1%、訪問介護と福祉用具貸与437件1.6%、通所リハと福祉用具貸与426件1.5%、訪問入浴と福祉用具貸与316件1.1%と福祉用具貸与との組み合わせが多かった。

3種類以上のサービスが組み合わせられたパターンは上位20位中に6パターン示され、要介護3以下よりもより組み合わせが多いパターンを利用する割合が高くなっていった。このパターンは、訪問介護と福祉用具貸与に通所介護あるいは、通所リハを組み合わせた通所系サービスとの組み合わせパターンと訪問看護、訪問入浴といった訪問系サービスとの組み合わせあるいは、短期生活入所との組み合わせとして示された。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、21.4%示され、要支援、要介護1、2よりもさらに高い割合を示していた。

表 2-17 要介護4に多いサービスの組み合わせ

	サービス組合せ	要介護4	
		N	%
1	福施	6221	22.4
2	保施	3742	13.5
3	医施	2973	10.7
4	通介-用貸	576	2.1
5	通介	573	2.1
6	用貸	490	1.8
7	訪介-用貸	437	1.6
8	通り-用貸	426	1.5
9	特入	376	1.4
10	訪介	364	1.3
11	訪介-通り-用貸	341	1.2
12	訪入-用貸	316	1.1
13	訪介-通介-用貸	309	1.1
14	通介-短生	302	1.1
15	通り	265	1.0
16	通介-用貸-短生	264	0.9
17	訪介-通介	259	0.9
18	訪介-訪看-用貸	224	0.8
19	訪介-訪入-用貸	215	0.8
20	通り-用貸-短保	183	0.7

(6)要介護5に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が5819件で23.7%、介護療養施設が4244件で17.3%、老人保健施設が1633件で6.6%と入所施設の利用が増加し47.6%を占め、ほぼ要介護4と同程度に入所系サービスを利用していた。

要介護5では、上位3パターンに続いて、訪問介護と訪問入浴と訪問看護と福祉用具貸与と居宅療養指導という5種類のサービスの組み合わせが607件で2.5%、訪問入浴と訪問看護、福祉用具貸与、居宅療養管理指導という4種類のサービスの組み合わせが続き、さらに訪問介護と訪問入浴と福祉用具貸与という3種類のサービスの組み合わせが示され、訪問入浴がサービスの組み合わせとして初めて上位に示されていた。

他の要介護度で多く示された訪問介護のみは、20位以内に示されなかったが通所介護が240件1.0%と示された。1種類だけのサービスとして訪問入浴215件0.9%と示され、他の要介護度よりも要介護5での利用が多いことが推察された。

2種類の組み合わせとして多かったのは、訪問介護と福祉用具貸与208件0.8%、訪問看護と福祉用具貸与182件0.7%、通所介護と福祉用具貸与180件0.7%、訪問入浴と福祉用具貸与172件0.7%と福祉用具貸与との組み合わせが多かったが要介護4には示されていた通所リハと福祉用具貸与は上位にはなかった。

3種類以上のサービスが組み合わせされたパターンは上位20位中に8パターン示され、要介護4以下よりもより組み合わせが多いパターンの利用割合が高くなっていた。要介護5では、4種類以上の組み合わせも他の要介護度よりも多く、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、25.4%示され高い割合を示していた。

表 2-18 要介護5に多いサービスの組み合わせ

	サービス組合せ	要介護5	
		N	%
1	福施	5819	23.7
2	医施	4244	17.3
3	保施	1633	6.6
4	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	607	2.5
5	訪入-訪看-用貸-居指	530	2.2
6	訪介-訪入-用貸	393	1.6
7	用貸	301	1.2
8	特入	280	1.1
9	訪介-訪看-用貸-居指	252	1.0
10	通介	240	1.0
11	訪入	215	0.9
12	訪介-用貸	208	0.8
13	訪看-用貸	182	0.7
14	通介-用貸	180	0.7
15	訪介-通介-用貸-短生	180	0.7
16	通介-用貸-短生	177	0.7
17	訪看-用貸-居指	173	0.7
18	訪入-用貸	172	0.7
19	訪介-通介	152	0.6
20	訪介-通介-用貸	152	0.6

表 2-19 サービス種類の組合せと要介護度との関係

順位	サービス組合せ	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1	訪介	0	0.00	10190	38.3	11512	43.2	3315	12.5	1106	4.2	364	1.4	138	0.5	26625	100.0
2	福祉	12	0.05	163	0.6	2873	11.3	4778	18.8	5556	21.9	6221	24.5	5819	22.9	25422	100.0
3	通介	0	0.00	4163	21.4	7465	38.3	5369	27.5	1683	8.6	573	2.9	240	1.2	19493	100.0
4	保施	0	0.00	0	0.0	1574	10.0	4524	28.8	4213	26.9	3742	23.9	1633	10.4	15686	100.0
5	通り	0	0.00	1508	15.0	3898	38.7	3067	30.4	1202	11.9	265	2.6	137	1.4	10077	100.0
6	訪介-用貸	0	0.00	1427	14.2	4505	44.9	2415	24.1	1040	10.4	437	4.4	208	2.1	10032	100.0
7	用貸	0	0.00	1693	17.1	3982	40.3	2259	22.8	1166	11.8	490	5.0	301	3.0	9891	100.0
8	医施	0	0.00	0	0.0	421	4.4	888	9.3	997	10.5	2973	31.2	4244	44.6	9523	100.0
9	訪介-通介	0	0.00	817	13.0	2621	41.9	1591	25.4	822	13.1	259	4.1	152	2.4	6262	100.0
10	通介-用貸	0	0.00	249	5.3	1289	27.5	1466	31.3	923	19.7	576	12.3	180	3.8	4683	100.0
11	通り-用貸	0	0.00	46	1.3	822	22.4	1204	32.8	1068	29.1	426	11.6	109	3.0	3675	100.0
12	特入	0	0.00	516	15.8	1085	33.3	668	20.5	335	10.3	376	11.5	280	8.6	3260	100.0
13	訪介-通介-用貸	0	0.00	130	4.2	918	29.8	1044	33.9	524	17.0	309	10.0	152	4.9	3077	100.0
14	訪介-通り	0	0.00	211	7.9	1140	42.9	783	29.5	339	12.8	133	5.0	49	1.8	2655	100.0
15	通介-短生	0	0.00	55	2.1	510	19.9	880	34.3	674	26.3	302	11.8	144	5.6	2565	100.0
16	訪介-居指	0	0.00	453	19.9	981	43.2	451	19.9	144	6.3	135	5.9	107	4.7	2271	100.0
17	訪介-通り-用貸	0	0.00	37	1.8	551	27.5	613	30.6	410	20.4	341	17.0	54	2.7	2006	100.0
18	通介-通り	0	0.00	215	12.2	726	41.1	506	28.6	212	12.0	61	3.5	47	2.7	1767	100.0
19	訪介-用貸-居指	0	0.00	113	7.6	396	26.5	474	31.7	231	15.5	162	10.8	118	7.9	1494	100.0
20	通介-居指	0	0.00	115	8.8	478	36.5	419	32.0	125	9.5	129	9.8	44	3.4	1310	100.0
21	痴共	0	0.00	0	0.0	460	36.9	424	34.1	242	19.4	104	8.4	15	1.2	1245	100.0
22	訪介-訪看	0	0.00	149	12.2	440	36.1	348	28.5	173	14.2	35	2.9	75	6.1	1220	100.0
23	訪看	0	0.00	141	11.9	388	32.9	290	24.6	165	14.0	94	8.0	103	8.7	1181	100.0
24	居指-痴共	0	0.00	0	0.0	244	21.3	574	50.1	271	23.6	39	3.4	18	1.6	1146	100.0
25	訪介-訪看-用貸	0	0.00	16	1.4	222	19.7	318	28.3	241	21.4	224	19.9	104	9.2	1125	100.0
26	通介-用貸-短生	0	0.00	4	0.4	106	9.6	251	22.8	301	27.3	264	23.9	177	16.0	1103	100.0
27	訪介-訪看-用貸-居指	0	0.00	3	0.3	206	19.4	244	22.9	236	22.2	123	11.6	252	23.7	1064	100.0
28	訪介-訪看-居指	0	0.00	75	7.1	300	28.2	304	28.6	155	14.6	101	9.5	128	12.0	1063	100.0
29	通り-短保	0	0.00	16	1.7	184	19.2	320	33.4	306	31.9	103	10.7	30	3.1	959	100.0
30	訪看-居指	0	0.00	53	5.6	356	37.3	218	22.9	105	11.0	121	12.7	101	10.6	954	100.0

31	訪番-用貸	0	0.00	24	2.6	189	20.7	228	24.9	147	16.1	145	15.8	182	19.9	915	100.0
32	短生	0	0.00	37	4.2	276	31.6	154	17.6	235	26.9	94	10.8	78	8.9	874	100.0
33	用貸-居指	0	0.00	19	2.2	225	25.7	285	32.6	135	15.4	67	7.7	143	16.4	874	100.0
34	訪入-用貸	0	0.00	2	0.2	25	3.0	98	11.7	226	26.9	316	37.7	172	20.5	839	100.0
35	訪介-訪入-用貸	0	0.00	0	0.0	51	6.2	38	4.6	132	15.9	215	25.9	393	47.4	829	100.0
36	居指	0	0.00	137	16.7	272	33.1	207	25.2	101	12.3	55	6.7	49	6.0	821	100.0
37	訪入-訪番-用貸-居指	0	0.00	0	0.0	2	0.3	45	5.7	76	9.7	131	16.7	530	67.6	784	100.0
38	訪介-訪入-訪番-用貸-居指	0	0.00	0	0.0	5	0.6	16	2.1	29	3.7	120	15.4	607	78.1	777	100.0
39	訪介-通介-短生	0	0.00	11	1.4	167	21.9	205	26.9	188	24.6	135	17.7	57	7.5	763	100.0
40	訪入	0	0.00	6	0.8	29	3.9	112	15.0	202	27.1	182	24.4	215	28.8	746	100.0
41	訪介-通介-居指	0	0.00	65	8.8	243	32.8	141	19.1	163	22.0	103	13.9	25	3.4	740	100.0
42	訪番-用貸-居指	0	0.00	19	2.6	163	22.1	184	25.0	150	20.4	48	6.5	173	23.5	737	100.0
43	訪介-通介-用貸-短生	0	0.00	1	0.2	47	7.3	118	18.3	177	27.4	122	18.9	180	27.9	645	100.0
44	通リ-用貸-短保	0	0.00	0	0.0	46	7.3	145	23.1	163	25.9	183	29.1	92	14.6	629	100.0
45	通介-通リ-用貸	0	0.00	0	0.0	149	23.8	227	36.3	187	29.9	49	7.8	14	2.2	626	100.0
46	訪介-通介-用貸-居指	0	0.00	0	0.0	87	14.2	239	39.1	86	14.1	122	19.9	78	12.7	612	100.0
47	通介-用貸-居指	0	0.00	0	0.0	41	6.9	186	31.5	148	25.0	136	23.0	80	13.5	591	100.0
48	居指-特入	0	0.00	9	1.6	170	29.4	112	19.4	98	17.0	78	13.5	111	19.2	578	100.0
49	通リ-短生	0	0.00	17	3.1	179	32.5	177	32.1	129	23.4	25	4.5	24	4.4	551	100.0
50	通リ-居指	0	0.00	75	14.3	149	28.5	167	31.9	90	17.2	41	7.8	1	0.2	523	100.0
—	その他	0	0.00	710	2.4	4510	15.5	5674	19.5	6074	20.8	5953	20.4	6238	21.4	29159	100.0
合計		12	0.01	23690	10.9	57678	26.6	48763	22.5	33901	15.7	27802	12.8	24601	11.4	216447	100.0

#### (1) サービス組み合わせの経年的変化

サービス組み合わせの上位の経年的変化を分析した。平成12年度の上位6位は、順に1：老人福祉施設、2：訪問介護、3：老人保健施設、4：通所介護。5：通所リハ、6：介護療養施設と示され、これらは、すべて平成15年度においても上位を占めていた。老人福祉施設と訪問介護は、平成13年度に順位が逆転した後は、訪問介護が多かった。低下傾向を示したのは、老人保健施設、通所リハであった。通所介護は一定であり、介護療養施設もほとんど変わらなかった。

サービスの組み合わせとして増えたのは訪問介護と福祉用具貸与、通所介護と福祉用具貸与等の福祉用具貸与を組み合わせたサービスが増加していることが明らかにされた。とくに、通所介護と福祉用具貸与は、平成14年度から15年度に大きく増加していた。痴呆対応型生活介護も平成12年度は、0であったが平成14年、15年と大きく増えていたサービスであった。訪問介護と通所介護の組み合わせは一定の割合であった。

平成15年度の介護報酬改定でサービスを4種類以上組み合わせた場合には、居宅介護支援に加算がなされることになった。4種類以上の組み合わせは、上位においては、ほとんど変動がなく、平成12年は544件で1.3%、13年度671件、1.4%、14年度1255件で2.2%、平成15年度は、1238件で1.8%と示され、14年度から15年度にかけて、若干、その割合は低下していた。

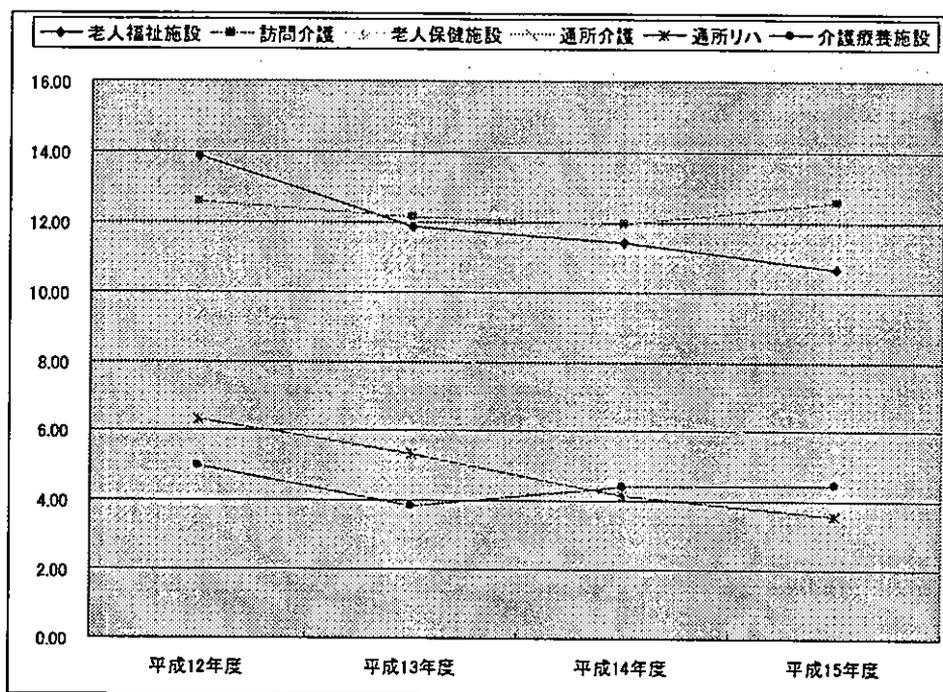


図 2-1 サービス利用の上位における経年的変化

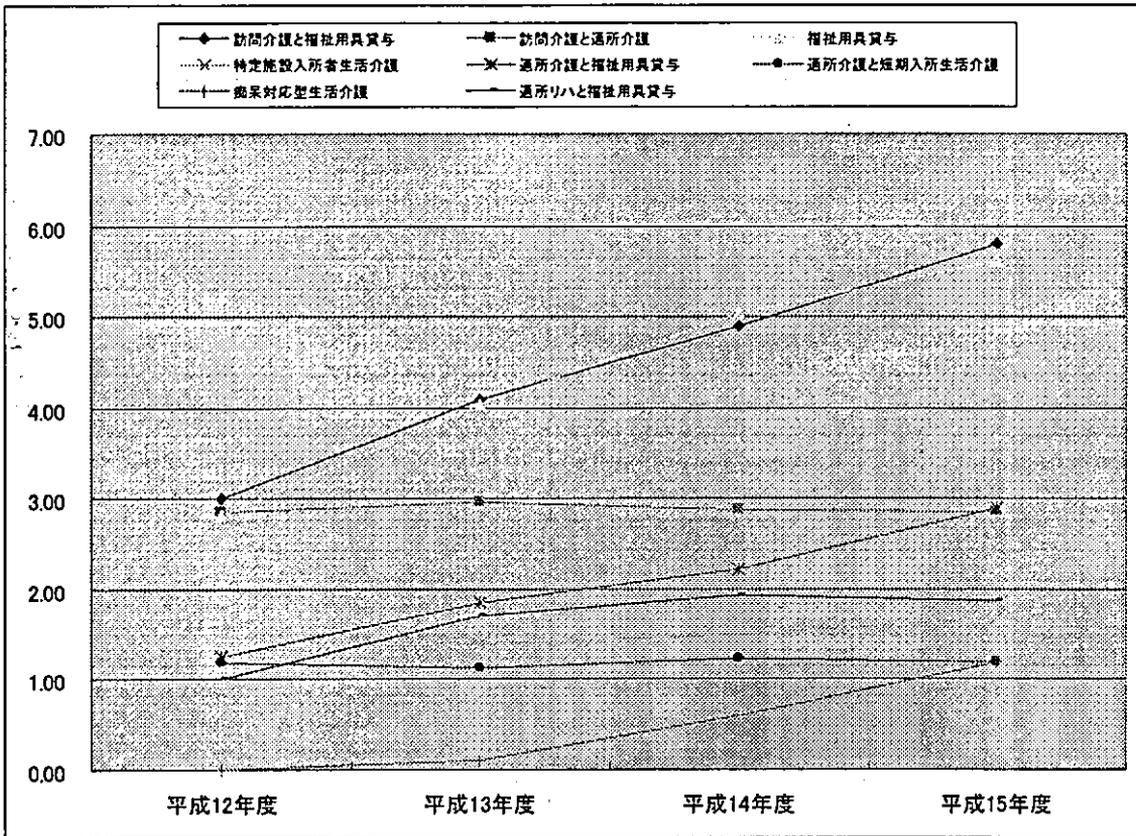


図 2-2 サービスパターン上位の経年的変化

表 2-20 サービスの組み合わせに関する経年的変化

順位	サービス組合せ	平成12年度		サービス組合せ	平成13年度		サービス組合せ	平成14年度		サービス組合せ	平成15年度	
		N	%		N	%		N	%		N	%
1	福祉	5635	13.9	訪介	6033	12.1	訪介	7106	12.0	訪介	8376	12.6
2	訪介	5110	12.6	福祉	5902	11.9	福祉	6794	11.4	福祉	7091	10.6
3	保施	3835	9.4	通介	4524	9.1	通介	5227	8.8	通介	5955	8.9
4	通介	3787	9.3	保施	4250	8.6	保施	3887	6.5	訪介-用貸	3865	5.8
5	通リ	2571	6.3	通リ	2648	5.3	用貸	2997	5.0	用貸	3747	5.6
6	医施	2036	5.0	訪介-用貸	2039	4.1	訪介-用貸	2910	4.9	保施	3714	5.6
7	訪介-用貸	1218	3.0	用貸	2001	4.0	医施	2612	4.4	医施	2973	4.5
8	訪介-通介	1160	2.9	医施	1902	3.8	通リ	2469	4.2	通リ	2389	3.6
9	用貸	1146	2.8	訪介-通介	1469	3.0	訪介-通介	1719	2.9	通介-用貸	1933	2.9
10	訪介-通リ	576	1.4	通介-用貸	918	1.8	通介-用貸	1323	2.2	訪介-通介	1914	2.9
11	訪介-居指	552	1.4	通リ-用貸	868	1.7	通リ-用貸	1152	1.9	訪介-通介-用貸	1404	2.1
12	特入	535	1.3	訪介-通リ	729	1.5	特入	895	1.5	通リ-用貸	1255	1.9
13	通介-用貸	509	1.3	特入	700	1.4	訪介-通介-用貸	885	1.5	特入	1130	1.7
14	通介-短生	486	1.2	通介-短生	560	1.1	訪介-通リ	771	1.3	痴共	830	1.2
15	通介-通リ	414	1.0	訪介-居指	540	1.1	通介-短生	729	1.2	通介-短生	790	1.2
16	通リ-用貸	400	1.0	通介-通リ	486	1.0	訪介-通リ-用貸	693	1.2	訪介-通リ-用貸	657	1.0
17	訪看-居指	390	1.0	訪介-通介-用貸	469	0.9	訪介-居指	643	1.1	訪介-通リ	579	0.9
18	訪介-訪看-居指	340	0.8	訪介-通リ-用貸	468	0.9	通介-通リ	460	0.8	居指-痴共	579	0.9
19	訪介-通介-用貸	319	0.8	訪介-用貸-居指	411	0.8	訪介-用貸-居指	422	0.7	訪介-居指	536	0.8
20	通介-居指	298	0.7	通介-居指	385	0.8	居指-痴共	368	0.6	通介-用貸-短生	492	0.7
21	訪介-訪看	293	0.7	訪介-訪看	290	0.6	痴共	361	0.6	通介-通リ	407	0.6
22	訪看	273	0.7	訪看	269	0.5	通介-居指	345	0.6	訪介-用貸-居指	405	0.6
23	訪介-用貸-居指	256	0.6	訪介-訪看-用貸	269	0.5	訪介-訪看-用貸	332	0.6	訪介-訪看-用貸	375	0.6
24	短生	252	0.6	訪介-訪看-居指	268	0.5	通介-用貸-短生	316	0.5	訪介-訪看	372	0.6
25	訪入	252	0.6	訪看-居指	256	0.5	訪介-訪看-用貸-居指	309	0.5	訪看	349	0.5
26	居指	190	0.5	訪介-訪看-用貸-居指	236	0.5	通リ-短保	300	0.5	訪介-訪看-用貸-居指	349	0.5
27	通リ-居指	189	0.5	訪介-通介-居指	229	0.5	訪看	290	0.5	訪介-訪入-用貸	340	0.5
28	訪介-通リ-用貸	188	0.5	通リ-短保	223	0.4	訪看-用貸	286	0.5	訪看-用貸	337	0.5
29	訪看-用貸-居指	185	0.5	短生	214	0.4	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	286	0.5	用貸-居指	317	0.5
30	通リ-短保	175	0.4	用貸-居指	204	0.4	訪入-用貸	278	0.5	通介-通リ-用貸	309	0.5
31	訪入-訪看-用貸-居指	174	0.4	居指	203	0.4	訪介-訪看	265	0.4	訪入-用貸	298	0.4
32	訪介-通介-居指	171	0.4	通介-用貸-短生	198	0.4	訪介-訪看-居指	244	0.4	通介-居指	282	0.4
33	訪介-訪看-用貸-居指	170	0.4	訪看-用貸-居指	195	0.4	居指-特入	242	0.4	通リ-短保	261	0.4
34	訪介-訪看-用貸	149	0.4	訪入	190	0.4	訪入-訪看-用貸-居指	238	0.4	訪介-通介-用貸-短生	251	0.4
35	訪介-通介-短生	147	0.4	訪看-用貸	182	0.4	用貸-居指	234	0.4	通リ-用貸-短保	248	0.4
36	用貸-居指	119	0.3	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	180	0.4	訪介-通介-短生	234	0.4	訪介-通介-短生	243	0.4
37	訪看-用貸	110	0.3	訪介-訪入-用貸	174	0.4	訪介-訪入-用貸	221	0.4	居指	234	0.4
38	訪入-用貸	99	0.2	訪入-訪看-用貸-居指	174	0.4	訪介-通介-用貸-居指	212	0.4	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	229	0.3
39	通介-用貸-短生	97	0.2	通リ-短生	166	0.3	訪介-通介-用貸-短生	210	0.4	居指-特入	215	0.3
40	訪介-訪入-用貸	94	0.2	訪入-用貸	164	0.3	通介-用貸-居指	203	0.3	短生	213	0.3
41	通リ-短生	85	0.2	居指-痴共	157	0.3	通リ-用貸-短保	199	0.3	訪介-訪看-居指	211	0.3
42	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	82	0.2	通リ-用貸-短保	140	0.3	短生	195	0.3	訪介-通介-用貸-居指	211	0.3
43	訪介-通介-用貸-居指	65	0.2	訪介-通介-短生	139	0.3	居指	194	0.3	通介-用貸-居指	205	0.3
44	訪介-通介-用貸-短生	53	0.1	訪介-通介-用貸-短生	131	0.3	訪入	192	0.3	訪入-訪看-用貸-居指	198	0.3
45	通介-用貸-居指	52	0.1	通介-用貸-居指	131	0.3	訪看-居指	187	0.3	訪看-用貸-居指	179	0.3
46	居指-痴共	42	0.1	通リ-居指	128	0.3	訪看-用貸-居指	178	0.3	訪介-通介-居指	163	0.2
47	通リ-用貸-短保	42	0.1	訪介-通介-用貸-居指	124	0.2	訪介-通介-居指	177	0.3	通リ-短生	156	0.2
48	通介-通リ-用貸	36	0.1	居指-特入	107	0.2	通介-通リ-用貸	176	0.3	訪看-居指	121	0.2
49	居指-特入	14	0.0	通介-通リ-用貸	105	0.2	通リ-短生	144	0.2	訪入	112	0.2
50	痴共	10	0.0	痴共	44	0.1	通リ-居指	109	0.2	通リ-居指	97	0.1
-	その他	5244	12.9	その他	6904	13.9	その他	8238	13.9	その他	8773	13.2
	サービス4種類以上の割合	544	1.3	サービス4種類以上の割合	671	1.4	サービス4種類以上の割合	1255	2.2	サービス4種類以上の割合	1238	1.8
	合計	40625	100.0		49696	100.0		59457	100.0		66669	100.0

表 2-21 サービス種類の組合せとサービス提供年度との関係

順序	サービス組合せ	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1	訪介	5110	12.6	6033	12.1	7106	12.0	8376	12.6	26625	12.3
2	福祉	5635	13.9	5902	11.9	6794	11.4	7091	10.6	25422	11.7
3	通介	3787	9.3	4524	9.1	5227	8.8	5955	8.9	19493	9.0
4	保施	3835	9.4	4250	8.6	3887	6.5	3714	5.6	15686	7.2
5	通り	2571	6.3	2648	5.3	2469	4.2	2389	3.6	10077	4.7
6	訪介-用貸	1218	3.0	2039	4.1	2910	4.9	3865	5.8	10032	4.6
7	用貸	1146	2.8	2001	4.0	2997	5.0	3747	5.6	9891	4.6
8	医施	2036	5.0	1902	3.8	2612	4.4	2973	4.5	9523	4.4
9	訪介-通介	1160	2.9	1469	3.0	1719	2.9	1914	2.9	6262	2.9
10	通介-用貸	509	1.3	918	1.8	1323	2.2	1933	2.9	4683	2.2
11	通り-用貸	400	1.0	868	1.7	1152	1.9	1255	1.9	3675	1.7
12	特入	535	1.3	700	1.4	895	1.5	1130	1.7	3260	1.5
13	訪介-通介-用貸	319	0.8	469	0.9	885	1.5	1404	2.1	3077	1.4
14	訪介-通り	576	1.4	729	1.5	771	1.3	579	0.9	2655	1.2
15	通介-短生	486	1.2	560	1.1	729	1.2	790	1.2	2565	1.2
16	訪介-居指	552	1.4	540	1.1	643	1.1	536	0.8	2271	1.0
17	訪介-通り-用貸	188	0.5	468	0.9	693	1.2	657	1.0	2006	0.9
18	通介-通り	414	1.0	486	1.0	460	0.8	407	0.6	1767	0.8
19	訪介-用貸-居指	256	0.6	411	0.8	422	0.7	405	0.6	1494	0.7
20	通介-居指	298	0.7	385	0.8	345	0.6	282	0.4	1310	0.6
21	痴共	10	0.0	44	0.1	361	0.6	830	1.2	1245	0.6
22	訪介-訪看	293	0.7	290	0.6	265	0.4	372	0.6	1220	0.6
23	訪看	273	0.7	269	0.5	290	0.5	349	0.5	1181	0.5
24	居指-痴共	42	0.1	157	0.3	368	0.6	579	0.9	1146	0.5
25	訪介-訪看-用貸	149	0.4	269	0.5	332	0.6	375	0.6	1125	0.5
26	通介-用貸-短生	97	0.2	198	0.4	316	0.5	492	0.7	1103	0.5
27	訪介-訪看-用貸-居指	170	0.4	236	0.5	309	0.5	349	0.5	1064	0.5
28	訪介-訪看-居指	340	0.8	268	0.5	244	0.4	211	0.3	1063	0.5
29	通り-短保	175	0.4	223	0.4	300	0.5	261	0.4	959	0.4
30	訪看-居指	390	1.0	256	0.5	187	0.3	121	0.2	954	0.4

31	訪看-用貸	110	0.3	182	0.4	286	0.5	337	0.5	915	0.4
32	短生	252	0.6	214	0.4	195	0.3	213	0.3	874	0.4
33	用貸-居指	119	0.3	204	0.4	234	0.4	317	0.5	874	0.4
34	訪入-用貸	99	0.2	164	0.3	278	0.5	298	0.4	839	0.4
35	訪介-訪入-用貸	94	0.2	174	0.4	221	0.4	340	0.5	829	0.4
36	居指	190	0.5	203	0.4	194	0.3	234	0.4	821	0.4
37	訪入-訪看-用貸-居指	174	0.4	174	0.4	238	0.4	198	0.3	784	0.4
38	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	82	0.2	180	0.4	286	0.5	229	0.3	777	0.4
39	訪介-通介-短生	147	0.4	139	0.3	234	0.4	243	0.4	763	0.4
40	訪入	252	0.6	190	0.4	192	0.3	112	0.2	746	0.3
41	訪介-通介-居指	171	0.4	229	0.5	177	0.3	163	0.2	740	0.3
42	訪看-用貸-居指	185	0.5	195	0.4	178	0.3	179	0.3	737	0.3
43	訪介-通介-用貸-短生	53	0.1	131	0.3	210	0.4	251	0.4	645	0.3
44	通り-用貸-短保	42	0.1	140	0.3	199	0.3	248	0.4	629	0.3
45	通介-通り-用貸	36	0.1	105	0.2	176	0.3	309	0.5	626	0.3
46	訪介-通介-用貸-居指	65	0.2	124	0.2	212	0.4	211	0.3	612	0.3
47	通介-用貸-居指	52	0.1	131	0.3	203	0.3	205	0.3	591	0.3
48	居指-特入	14	0.0	107	0.2	242	0.4	215	0.3	578	0.3
49	通り-短生	85	0.2	166	0.3	144	0.2	156	0.2	551	0.3
50	通り-居指	189	0.5	128	0.3	109	0.2	97	0.1	523	0.2
一	その他	5244	12.9	6904	13.9	8238	13.9	8773	13.2	29159	13.5
合計		40625	100.0	49696	100.0	59457	100.0	66669	100.0	216447	100.0

## 6. 介護給付における経年的な変化

### (1) 経年的に増加したサービスの特徴

制度発足時から継続して増加してきた介護保険サービスの中でもとくに前年比の増加数が高かったのは、痴呆対応型生活介護で前年比の平均値が 2.99 倍を示していた。福祉用具貸与も平均で 1.52 倍と高かった。通所介護も高く平均が 1.38 倍の伸びであった。特定施設入所者生活介護や短期入所生活介護といったサービスも 1.36 倍、1.31 倍と高い伸び数値を示していた。

一方、平均で減少していたサービスは、介護保険施設と訪問看護であった、介護保険施設は供給量も少なく、その伸びも低いサービスであった。伸びが低いサービスとしては、訪問看護が 1.01 倍、居宅療養管理指導が平均 1.03 倍と低かった。これらのサービスは、供給できる量が限られており、新規参入が難しいサービスといえる。同様に介護福祉施設や介護療養施設といった施設サービスは、ベッド数に制限があるため、増加ができないことから伸びは低くなっている。

表 2-22 平成 12 年度から増加しつづけた介護保険サービス（伸び率の降順）

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)	平成14年度	前年比(倍)	平成15年度	前年比(倍)	合計	前年比(倍)の 平均値
痴呆対応型共同生活介護	1,485,724	5,178,798	3.49	18,467,142	3.57	35,355,151	1.91	60,486,815	2.99
福祉用具貸与	10,908,767	21,101,341	1.93	29,723,152	1.41	36,101,599	1.21	97,834,859	1.52
通所介護	45,876,410	70,024,179	1.53	93,657,504	1.34	118,359,170	1.26	327,917,263	1.38
特定施設入所者生活介護	9,602,356	13,890,023	1.45	19,668,924	1.42	24,065,397	1.22	67,226,700	1.36
短期入所生活介護	14,900,919	19,868,952	1.33	28,032,694	1.41	33,156,090	1.18	95,958,655	1.31
訪問介護	63,337,990	92,811,347	1.47	114,422,454	1.23	128,867,353	1.13	399,439,144	1.27
居宅介護支援	21,114,576	26,967,242	1.28	32,377,292	1.20	43,206,752	1.33	123,665,862	1.27
訪問入浴	9,938,376	13,016,038	1.31	15,913,305	1.22	17,264,216	1.08	56,131,935	1.21
通所リハビリテーション	42,915,343	53,648,304	1.25	61,208,563	1.14	62,712,563	1.02	220,484,773	1.14

表 2-23 増加しなかった介護サービス（マイナス伸び率の降順）

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)	平成14年度	前年比(倍)	平成15年度	前年比(倍)	合計	前年比(倍)の 平均値
介護保健施設	113,975,393	124,609,657	1.09	116,813,286	0.94	107,134,571	0.92	462,532,907	0.98
訪問看護	22,006,040	22,568,186	1.03	22,486,053	1.00	22,866,906	1.02	89,927,185	1.01
居宅療養管理指導	6,608,720	7,440,682	1.13	8,028,630	1.08	7,191,700	0.90	29,269,732	1.03
介護福祉施設	149,161,205	158,222,631	1.06	182,711,759	1.15	180,741,196	0.99	670,836,791	1.07
訪問リハビリテーション	245,850	406,450	1.65	174,350	0.43	222,200	1.27	1,048,850	1.12
介護療養施設	70,823,694	67,896,454	0.96	92,932,077	1.37	110,001,487	1.18	341,653,712	1.17
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,885,472	10,301,896	1.75	17,341,194	1.68	16,760,541	0.97	50,289,103	1.47
短期入所療養介護 (介護療養施設)	493,374	2,061,941	4.18	3,070,426	1.49	2,438,409	0.79	8,064,150	2.15
福祉用具購入	29,158	1,650,667	56.61	2,795,893	1.69	2,410,999	0.86	6,886,717	19.72
住宅改修	28,113	5,811,402	206.72	10,170,885	1.75	8,063,222	0.79	24,073,622	69.75

(2) 年度別介護サービス総単位数の伸び

平成 12 年度から 13 年度で前年比の伸びがとくに高かったサービスは、住宅改修、福祉用具購入で、前年比 206.72 倍、56.61 倍であった。この他に短期入所療養介護の 4.18 倍、痴呆対応型共同生活介護の 3.49 倍も、高い伸びを示していた。

この他にも福祉用具貸与の 1.93 倍、短期入所生活介護の 1.75 倍、訪問リハの 1.65 倍、通所介護 1.53 倍が 1.5 倍以上の伸びを示し、通所介護の 1.53 倍、訪問入浴の 1.31 倍、通所リハの 1.25 倍と多くの訪問系、通所系のサービスが大きな伸びを示した。

平成 13 年度から 14 年度において前年比で高い伸びを示したのは、痴呆対応型共同生活介護の 3.57 倍、住宅改修の 1.75 倍、福祉用具購入の 1.69 倍、短期入所生活介護(老人保健施設)の 1.68 倍、特定施設入所者生活介護 1.42 倍、通所介護の 1.34 倍、福祉用具貸与が 1.41 倍と平成 13 年度の伸びは低いが生産量が増加していた。

平成 14 年度から 15 年度においては、介護報酬改定がなされたことにより、前年比の伸びがマイナスになったサービスが他の年に比較して多かった。マイナス改定がなされた施設サービスは、前年比の伸びがマイナスになった。

このうち前年比で高い伸びを示したのは、痴呆対応型共同生活介護の 1.91 倍、居宅介護支援の 1.33 倍、訪問リハの 1.27 倍、通所介護 1.26 倍、特定施設入所者生活介護 1.22 倍、福祉用具貸与の 1.21 倍、介護療養施設が 1.18 倍、と平成 14 年度の伸び率よりはすべて低くなっていた。

表 2-24 平成 13 年度の前年度比 (伸び率の降順)

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)
住宅改修	28,113	5,811,402	206.72
福祉用具購入	29,158	1,650,667	56.61
短期入所療養介護 (介護療養施設)	493,374	2,061,941	4.18
痴呆対応型共同生活介護	1,485,724	5,178,798	3.49
福祉用具貸与	10,908,767	21,101,341	1.93
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,885,472	10,301,896	1.75
訪問リハビリテーション	245,850	406,450	1.65
通所介護	45,876,410	70,024,179	1.53
訪問介護	63,337,990	92,811,347	1.47
特定施設入所者生活介護	9,602,356	13,890,023	1.45
短期入所生活介護	14,900,919	19,868,952	1.33
訪問入浴	9,938,376	13,016,038	1.31
居宅介護支援	21,114,576	26,967,242	1.28
通所リハビリテーション	42,915,343	53,648,304	1.25
居宅療養管理指導	6,608,720	7,440,682	1.13
介護保健施設	113,975,393	124,609,657	1.09
介護福祉施設	149,161,205	158,222,631	1.06
訪問看護	22,006,040	22,568,186	1.03
介護療養施設	70,823,694	67,896,454	0.96

表 2-25 平成 14 年度の前年度比 (伸び率の降順)

	平成13年度	平成14年度	前年比(倍)
痴呆対応型共同生活介護	5,178,798	18,467,142	3.57
住宅改修	5,811,402	10,170,885	1.75
福祉用具購入	1,650,667	2,795,893	1.69
短期入所療養介護 (老人保健施設)	10,301,896	17,341,194	1.68
短期入所療養介護 (介護療養施設)	2,061,941	3,070,426	1.49
特定施設入所者生活介護	13,890,023	19,668,924	1.42
短期入所生活介護	19,868,952	28,032,694	1.41
福祉用具貸与	21,101,341	29,723,152	1.41
介護療養施設	67,896,454	92,932,077	1.37
通所介護	70,024,179	93,657,504	1.34
訪問介護	92,811,347	114,422,454	1.23
訪問入浴	13,016,038	15,913,305	1.22
居宅介護支援	26,967,242	32,377,292	1.20
介護福祉施設	158,222,631	182,711,759	1.15
通所リハビリテーション	53,648,304	61,208,563	1.14
居宅療養管理指導	7,440,682	8,028,630	1.08
訪問看護	22,568,186	22,486,053	1.00
介護保健施設	124,609,657	116,813,286	0.94
訪問リハビリテーション	406,450	174,350	0.43

表 2-26 平成 15 年度の前年度比 (伸び率の降順)

	平成14年度	平成15年度	前年比(倍)
痴呆対応型共同生活介護	18,467,142	35,355,151	1.91
居宅介護支援	32,377,292	43,206,752	1.33
訪問リハビリテーション	174,350	222,200	1.27
通所介護	93,657,504	118,359,170	1.26
特定施設入所者生活介護	19,668,924	24,065,397	1.22
福祉用具貸与	29,723,152	36,101,599	1.21
介護療養施設	92,932,077	110,001,487	1.18
短期入所生活介護	28,032,694	33,156,090	1.18
訪問介護	114,422,454	128,867,353	1.13
訪問入浴	15,913,305	17,264,216	1.08
通所リハビリテーション	61,208,563	62,712,563	1.02
訪問看護	22,486,053	22,866,906	1.02
介護福祉施設	182,711,759	180,741,196	0.99
短期入所療養介護 (老人保健施設)	17,341,194	16,760,541	0.97
介護保健施設	116,813,286	107,134,571	0.92
居宅療養管理指導	8,028,630	7,191,700	0.90
福祉用具購入	2,795,893	2,410,999	0.86
短期入所療養介護 (介護療養施設)	3,070,426	2,438,409	0.79
住宅改修	10,170,885	8,063,222	0.79

(3) 介護サービス利用日数・回数の前年比の伸び

介護保険サービスは、それぞれのサービス毎に単位が異なっていることから、利用日数や回数が多くても単位数は多くないことがありうる。そこで利用日数および回数についても経年的な変化について分析した。

利用日数において、平成12年度から13年度で伸びがとくに高かったサービスは、痴呆対応型共同生活介護の3.52倍であった。次に特定施設入所者生活介護が1.49倍、訪問介護が1.48倍、通所介護が1.47倍、短期入所生活介護が1.34倍と、前年比で1.4倍を超える伸びを示していた。

一方、日数、回数で前年比での伸びが低かったのは、訪問リハビリで0.94倍と示された。

表 2-27 年度別介護サービス利用日数・回数の変化（伸び率の降順）

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)	平成14年度	前年比(倍)	平成15年度	前年比(倍)	合計	前年比(倍)の 平均値
痴呆対応型共同生活介護	1,772	6,242	3.52	22,316	3.58	42,404	1.90	72,734	3.00
特定施設入所者生活介護	16,060	23,919	1.49	33,956	1.42	40,443	1.19	114,378	1.37
通所介護	54,807	80,302	1.47	105,902	1.32	134,715	1.27	375,726	1.35
短期入所生活介護	13,594	18,195	1.34	25,744	1.41	31,482	1.22	89,015	1.33
訪問介護	164,288	243,815	1.48	304,382	1.25	345,477	1.14	1,057,962	1.29
居宅介護支援	28,089	35,960	1.28	43,426	1.21	49,994	1.15	157,469	1.21
居宅療養管理指導	9,998	11,368	1.14	12,148	1.07	17,633	1.45	51,147	1.22
訪問入浴	7,989	10,460	1.31	12,788	1.22	13,858	1.08	45,095	1.21
通所リハビリテーション	46,837	56,375	1.20	63,973	1.13	66,770	1.04	233,955	1.13
介護福祉施設	166,848	175,015	1.05	201,800	1.15	210,961	1.05	754,624	1.08
訪問看護	25,387	26,256	1.03	27,168	1.03	30,319	1.12	109,130	1.06

表 2-28 日数・回数が増えなかったサービス（伸び率が低い降順）

	平成12年度	平成13年度	伸び率(%)	平成14年度	伸び率(%)	平成15年度	伸び率(%)	合計	前年比(倍)の 平均値
介護保健施設	118,077	127,426	1.08	118,941	0.93	113,574	0.95	478,018	0.99
訪問リハビリテーション	447	739	1.65	317	0.43	398	1.26	1,901	1.11
介護療養施設	60,412	56,619	0.94	76,767	1.36	87,747	1.14	281,545	1.15
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,135	8,808	1.72	14,890	1.69	14,745	0.99	43,578	1.47
短期入所療養介護 (介護療養施設)	345	1,661	4.81	2,542	1.53	2,173	0.85	6,721	2.40

(4) 年度別介護サービス利用日数、回数の伸びについて

平成12年度から13年度における利用日数及び回数の伸びがとくに高かったサービスは、短期入所療養介護（介護療養施設）の4.81倍、痴呆対応型共同生活介護の3.52倍であった。短期入所療養介護（介護老人保健施設）も1.72倍と高く、訪問リハも1.65倍を示した。特定施設入所者生活介護1.49倍、訪問介護1.48倍、通所介護1.47倍と、1.4倍以上の伸びを示し、短期入所生活介護1.34倍、訪問入浴1.31倍、通所リハ1.20倍とほとんどの訪問系、通所系のサービスが大きな伸びを示した。

平成13年度から14年度において高い伸びを示したのは、痴呆対応型共同生活介護の3.58倍であった。短期入所療養介護（介護老人保健施設）も1.69倍と短期入所療養介護（介護療養施設）も1.53倍と高かった。特定施設入所者生活介護1.42倍、短期入所生活介護1.41倍、介護療養施設1.36倍、通所介護1.32倍、訪問介護1.25倍、訪問入浴1.22倍と利用日数、回数も増加していた。

平成14年度から15年度においては、介護報酬改定がなされたことにより、伸びがマイナスになったサービスもあった。マイナス改定の影響は、短期入所療養施設と介護老人保健施設で示されていた。

このうち高い伸び率を示したのは、痴呆対応型共同生活介護の1.90倍、居宅療養管理指導の1.45倍、通所介護の1.27倍、訪問リハの1.26倍であった。短期入所生活介護1.22倍、特定施設入所者生活介護の1.19倍、居宅介護支援の1.15倍では、平成14年度の伸びよりすべて低くなっていた。

表 2-29 平成13年度の利用日数・回数の伸び率（降順）

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)
短期入所療養介護 (介護療養施設)	345	1,661	4.81
痴呆対応型共同生活介護	1,772	6,242	3.52
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,135	8,808	1.72
訪問リハビリテーション	447	739	1.65
特定施設入所者生活介護	16,060	23,919	1.49
訪問介護	164,288	243,815	1.48
通所介護	54,807	80,302	1.47
短期入所生活介護	13,594	18,195	1.34
訪問入浴	7,989	10,460	1.31
居宅介護支援	28,089	35,960	1.28
通所リハビリテーション	46,837	56,375	1.20
居宅療養管理指導	9,998	11,368	1.14
介護保健施設	118,077	127,426	1.08
介護福祉施設	166,848	175,015	1.05
訪問看護	25,387	26,256	1.03
介護療養施設	60,412	56,619	0.94

表 2-30 平成14年度の利用日数・回数の伸び率（降順）

	平成13年度	平成14年度	前年比(倍)
痴呆対応型共同生活介護	6,242	22,316	3.58
短期入所療養介護 (老人保健施設)	8,808	14,890	1.69
短期入所療養介護 (介護療養施設)	1,661	2,542	1.53
特定施設入所者生活介護	23,919	33,956	1.42
短期入所生活介護	18,195	25,744	1.41
介護療養施設	56,619	76,767	1.36
通所介護	80,302	105,902	1.32
訪問介護	243,815	304,382	1.25
訪問入浴	10,460	12,788	1.22
居宅介護支援	35,960	43,426	1.21
介護福祉施設	175,015	201,800	1.15
通所リハビリテーション	56,375	63,973	1.13
居宅療養管理指導	11,368	12,148	1.07
訪問看護	26,256	27,168	1.03
介護保健施設	127,426	118,941	0.93
訪問リハビリテーション	739	317	0.43

表 2-31 平成15年度の利用日数・回数の伸び率（降順）

	平成14年度	平成15年度	前年比(倍)
痴呆対応型共同生活介護	22,316	42,404	1.90
居宅療養管理指導	12,148	17,633	1.45
通所介護	105,902	134,715	1.27
訪問リハビリテーション	317	398	1.26
短期入所生活介護	25,744	31,482	1.22
特定施設入所者生活介護	33,956	40,443	1.19
居宅介護支援	43,426	49,994	1.15
介護療養施設	76,767	87,747	1.14
訪問介護	304,382	345,477	1.14
訪問看護	27,168	30,319	1.12
訪問入浴	12,788	13,858	1.08
介護福祉施設	201,800	210,961	1.05
通所リハビリテーション	63,973	66,770	1.04
短期入所療養介護 (老人保健施設)	14,890	14,745	0.99
介護保健施設	118,941	113,574	0.95
短期入所療養介護 (介護療養施設)	2,542	2,173	0.85

## 7. 介護報酬改定前後の要介護度別サービス種類の組合わせの変化

### (1) 全体的な傾向

要介護度が2までの比較的、自立度が高い場合には、改定前のサービスと改定後のサービスの利用において全体的な傾向としては、大きな変化はないが痴呆生活介護を利用する者が急増しており、さらに訪問介護や通所介護と福祉用具貸与を組合わせる場合が増えていた。

要介護度が4、5と、より重度の場合には、サービスの種類の組み合わせの順位には、変動がほとんどなく施設利用が多かったが、居宅では3種類や4種類のサービスの組み合わせが増えており、その組み合わせには、福祉用具貸与が含まれていることが特徴となっていた。要介護5では、訪問入浴をよく利用しており、訪問介護や訪問看護と訪問入浴が組み合わせられていることが特徴であった。

要介護4、5では、介護報酬改定後には、4種類以上のサービスの利用、とくに福祉用具との組み合わせが増えている傾向が若干示されており、介護報酬改定の影響があったものと推察された。

### (2) 要支援

介護報酬改定前後のサービス提供には、ほとんど変化がなく、とくに上位20までの組み合わせと、その順位についても、訪介が最も多く、次いで通介、用貸と続いており、複数のサービスの組合わせである訪介-用貸や、訪介-通介、通介-用貸、訪介-居指、訪介-通介-用貸、訪介-通り、通介-通りにおいても順位の変動はみられなかった。

### (3) 要介護1

改定後は、訪介、通介が多く、次いで訪介-用貸と複数の組み合わせが示され、用貸、通りと続いていた。これは通所リハが改定前は3位であったが、訪介-用貸と用貸が増えて順位がかわったことを示している。要介護1では、通介-用貸や訪介-通介-用貸の増加と改定前は、29位であった痴共が13位へと増加しているのが特徴である。

また改定前は、全くない組み合わせで改定後に一定の利用者が利用した組み合わせは、訪入-訪看-用貸や訪介-訪リ-用貸や通り-短生-短保であった。

### (4) 要介護2

改定前後において、1位通介、2位福祉、3位保施の順位には変化はなかったが、要介護1と同様に、6位から訪介-用貸の組み合わせが増加し、訪問介護や通所リハの順位が下降していた。福祉用具との組み合わせを利用する者が増加しており、通介-用貸、訪介-通介-用貸、通り-用貸が増加していた。訪介-訪看-通介-用貸や訪介-通り-用貸-短保の4種類以上の組み合わせも増加し、順位が上昇していた。